



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ 週報 No.5

2009.7.29 (No.2556)

第2560地区ガバナー／植木 康之
 会長／菊池 渉
 会長エレクト／樺山 仁(クラブ奉仕A)
 副会長／山田 富義(クラブ奉仕B)
 幹事／松永 一義
 S A A／成田 秀雄
 会計／石月 良典

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

■本日の出席会員数:55名中35名
 ■先々週出席率:88.46%

【ヴィジター】

三條北RCより
 ・梨本建夫さん

【先週のメイクアップ】

[7.23] 三條東RCへ

・斎藤弘文さん、明田川賢一さん
 ・五十嵐晋三さん、加藤紋次郎さん
 ・武田真二さん、丸山行彦さん
 ・浅野金治さん

[7.27] 三條南RCへ

・加藤紋次郎さん、斎藤弘文さん

[4.28] 分水RCへ

・渡邊喜彦さん



「ロータリーの未来は、
 あなたの手の中に」

2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

季節のお花 (アサガオ)



会長挨拶

菊池 渉 会長

手の中に



ご挨拶申し上げます。

『ジャータカ』と呼ばれる伝説にあるお話です。古代インドに操の堅い王妃がおりました。大変な美人でした。夫の国王が亡くなってから、いろいろな男に言い寄られるのですが寄せ付けません。寝室にはガードマンを付けて男の侵入を防いでいました。

そんな王妃をインドラ神が見そめました。インドラ神は日本名・帝釈天です。このインドラ神、なかなか暴れん坊のいたずら者、プレーボーイです。

彼は曲りなりにも神様ですから、どこからでも部屋へ侵入できました。ある晩、そのインドラ神が王妃の寝室に出現しました。両手で黄金の壺を抱えています。その黄金の壺には金貨が山盛りになっています。「お妃よ、わたしと一晚浮気をしませんか？応じて下されば、この金貨山盛りの壺をプレゼントします」と誘惑するのです。

もちろん王妃はそんな誘惑ははね除けました。インドラ神は消え去りました。

しかし翌日の夜、再びインドラ神はやってきました。今度は純銀の壺に山盛りの銀貨です。贈り物を見せながら誘惑するのですが、王妃は再び断ります。インドラ神は退散しました。

その翌日の夜もインドラ神は誘惑に来ました。その夜のプレゼントは銅の壺に山盛りの銅貨です。その夜も王妃は誘惑には応じません。インドラ神が退散しようとしたその時、王妃はインドラ神に質問しました。

「人間の殿方は断れば断るほど贈り物が豪華になるのに、

インドラ神、あなたは最初の晩が金貨、昨夜は銀貨、そして今宵は銅貨といったふうに、だんだん値下がりしていきませんが、どうしてですか？」と。

インドラ神が答えました。「お妃よ、あなたの若さと美貌は日に日に衰えていきます。一昨夜よりは昨夜、昨夜よりは今夜、あなたの値打ちは低下していくのです」そう言われればその通りで、女性は焦りますね。そこであわてて王妃はインドラ神の誘惑に応じた…か、どうかは、みなさんはどうお考えですか？すんなり誘惑に応じれば、日本のお昼の番組ですね。にもかかわらず王妃は操を守った。それでこそ仏教の話になるのです。

もっとも私は数年前にこの話を短い小説仕立てにしたのですが、その中では、誘惑に落ちて、……、最後の最後に王妃は「ナムアマダブツ」を称えるのです。それは私の勝手な創作です。

さて皆さんなら、女性を口説く時、せっせとプレゼントを運ぶつりあげ方式か、それともインドラ神式か、どちらを選ばれますやら？もっとも僧侶である私には無縁ですが。

幹事報告

松永一義 幹事

◎植木ガバナー事務所よりロータリーレート変更のご案内が届いております。

98円(現行) → 8月1日より 94円

◎ガバナー事務所より第1回ロータリー財団セミナー開催のご案内が届いております。

と き 8月23日(日) PM 12:00～

ところ 柏崎商工会議所 5F

登録料 3,000円

◎米山奨学親睦交流会のご案内が、カウンセラー・米山奨学生に届いております。

と き 8月29日(土) AM 9:45～

ところ 魚沼方面 雲洞庵見学 他

参加料 ロータリアン 3,000円

◎植木ガバナー事務所より地区大会記念ゴルフ大会開催のご案内が届いております。

と き 10月8日(木) AM 8:05～

ところ 柏崎カントリークラブ

※各クラブ1組以上お願いしたい。

※8月20日(木) 締切

◎ガバナー事務所より2009～2010年度地区大会のご案内が届いております。

と き 10月18日(日) AM 8:30～PM 6:10

ところ 柏崎市 総合体育館

※会員数の60%登録のお願い。

皆様には後ほど回覧致しますので、ご協力お願い致します。

※8月20日(木) 締切

ニコニコBOX

菊池 渉さん

里帰りの季節です。女房はイソイソ。いくつになっても里帰りは嬉しいのでしょうか？

松永一義さん

親睦さん、先週は楽しい時間ありがとうございました。

樺山さん、卓話ありがとうございます。

小越憲泰さん

先週の夜例会、多勢の皆様の出席ありがとうございました。

今日の樺山さんの卓話、楽しみです。

渡辺勝利さん

先月22日の夏忘れ例会で、会場に落とした手帳を宿泊組の小出会員に拾っていただき、わざわざ届けていただきました。ありがとうございました。

荻根澤隆雄さん

先週の湯田上での納涼例会、楽しかったです。

親睦委員の皆様ご苦勞様でした。

テレカ回収運動、ご協力お願いします。

平原信行さん

前週の湯田上わか竹例会、親睦委員会さんお世話になりました。

野崎喜一郎さん

毎日雨ばかりでイヤになります。

早く梅雨が明けて、カラッとした暑い夏になってもらいたいです。

熊倉昌平さん

樺山さん、先週は田上の帰り、大変ありがとうございました。

今日は卓話に期待します。

五十嵐昭一さん

7月が終わろうというのに、未だ梅雨が明けません。早く真夏の青い空を見たいものです。

中村和彦さん

先週、剣岳^{つるぎ}へ行って来ました。いい山でした。
小出さん、佐野さんお世話になりました。
樺山さん、卓話楽しみにしています。

小出子恵出さん

先週、いつものメンバーで剣岳、立山縦走登山を楽しんで来ました。山小屋の酒は格別でした。

佐野勝榮さん

7月24～26日、2泊3日で剣岳・立山連峰を縦走して来ました。小出さん、中村さん、橘さんの4名パーティでした。天候には恵まれませんでした。最高でした。

樺山 仁さん

久しぶりの卓話です。よろしくお願ひします。

藤田紘一さん

梅雨明けはまだのようです。
樺山さん、卓話ご苦労様です。

丸山行彦さん、川瀬康裕さん、成田秀雄さん、
若槻八十彦さん、会田二郎さん、五十嵐晋三さん、
米山智哉さん、明田川賢一さん

樺山会員、卓話ご苦労様です。
楽しみにしております。

山田富義さん

樺山さん、卓話ありがとうございます。
残念です、早退します。

杉山幸英さん

雨が上がりました。
スマイルボックスに協力致します。

8月のお祝い

◎会員誕生祝

23日 米山智哉さん

◎夫人誕生祝

5日 小宮智恵美さん (好智さん)
7日 五十嵐きみ子さん (昭一さん)
8日 成田久美子さん (秀雄さん)
10日 石月道子さん (良典さん)
14日 近藤律子さん (雄介さん)
16日 阿部香苗さん (吉弘さん)
18日 石橋久子さん (育於さん)
27日 佐野美知子さん (勝榮さん)
28日 日戸英子さん (平太さん)

◎結婚記念

28日 坂上 昭さん (洋子さん)

◎100%出席賞

4年 中村和彦さん

7月29日分 ￥27,000
今年度累計 ￥128,000

卓 話

「人間と音楽について」

の中に

樺山 仁 会員



菊池丸が船出してはや1ヶ月となりました。これから大海に出て行く訳ですが、楽しい例会の実現が一番と思います。皆様の御協力をお願い致します。

久し振りの卓話の機会を頂き、ありがとうございます。

先日NHK TVで盲目のピアニスト、辻井伸行さん(20才)がアメリカの世界的なピアノコンクールであるバン・クライバーン国際ピアノコンクールで、見事優勝したのを拝見致しました。日本人では初めてです。

幼少の頃から目を患い、五線譜を自分の目で見られなく、点字の譜面を頼りに曲の一音一音を耳より感じ取り、教授の弾くピアノの音を一音一音確認しながら勉強して、母親の辻井いつ子さんの愛情と家族の協力もあり、本人のたゆまぬ努力の末に素晴らしい演奏をしておられるのを拝聴しました。音感の鋭さには、ただただ脱帽です。今では日本各地、世界各地でコンサートが大好評で開催されている様です。

音楽によりその人の人生が生き変わり、素晴らしいものであると改めて感じました。

本日は我々人間と音楽との関わりがどの様なものなのかを考えながら、人間と音楽についてお話し致します。

動物と人間が大きく異なる特徴の一つに、音楽を創造しそれを楽しむ能力を持っている事があげられます。

非言語的なコミュニケーションの一つである音楽は、人類が生きる為に絶対的に必要ではありませんが、日常的に広くある音楽は、どこの国でもその人々の日常生活の中の文化として伝わっています。

マルチン・ルター(宗教学者)は“心に平和と喜びをもたらす”と定義され、音楽は戦場にあっては兵士達の連帯感を高揚させ、社会的道徳感や宗教的な誠実さを表現し、又喜びにあふれたダンスや遊びを演出し、又幼子の子守唄の様に眠りを助けるものでもありました。

我々RCクラブの例会でクラブの歌を歌う事も、心をつなぐ参加者全員が目指す目的達成の為に、共に誓い合う事だと私は思います。

基本的にはコミュニケーションの手段の一つであり、言葉に比べて捉え難いものであるのが音楽であるとも言えます。

音楽の一つの特徴として、音楽的な娯楽や活動には年齢に関係なく人間の誕生から高齢に至るまで、多くの人に喜ばれる要素を持っています。

幼い子供達は音楽を感覚的運動刺激として捉え、子供が成長するにつれて、社会的活動として音楽を捉えるのであります。

心理学的に考えると、音楽の効果として音の特性と聞き手の要因によって、色々幅広く考えられます。

音楽の効果とはくつろぎを与え、想像力を高揚させ、集中力を高め、瞑想を深める事でもあります。

音楽の特性としてはリズム、テンポ、メロディーを上げる事が出来ます。

聞き手側の立場からすると、その時の気分、好み、性格、又音楽的訓練として考えられ、この効果、特性、人間的要因との関係を最大限に引き出し、それによって人間に対して行なうのが、医療では音楽療法(ミュージックセラピー)であります。

音楽療法とは、心身の健康回復、維持、増進を目的としている訳で、先進国アメリカに於いては非常に盛んで、ミュージックセラピストと言われる医療に携わる資格がある程、社会に要望されている様です。

人間生活にとって、切る事が出来ぬものが音楽であると思います。

TVドラマの放送の中で音楽がなかったら、おそらく無味乾燥でつまらぬものであらうと思われま

17世紀のバロック時代、音楽理論では感情を動かす事、心を揺さぶる事が音楽の目的として言われ、神を讃美し、神の心に適う優れた音楽は人の心を揺り動かし、喜びや悲しみの感情を正しい方に呼び起こし、道徳的に高め、神への正しい信仰に向けて行くと言う事が理論化されております。

音楽は一種の数学であります。今日の大学では文科系の科目として歴史的、美学的、芸術的に学ばれていますが、中世の大学では理科の科目として学ばれておりました。

言語系の文法、修辞学、弁証法(論理学)と数学と言う四科に別れ、音楽は数学の科目の中の幾何、算術、天文学、音楽と、数学系の四科に分かれておりました。

音楽は例えば四拍子、四小節、四分音符、四度音程と言われる様に、色々な形と数とが関わって来ました。

音楽の背後には数の比例が隠されており、此れを

見ますと、調和する音程はオクターブが1対2、5度が2対3、3度が4対5と言った様に、音の振動数と弦の長さに比例している様ですし、その数的比例を見つける事、和音の発見が神への真理に出会う道であり、曲を作ったり歌ったりする以上に価値があるものと考えられていました。

ルネッサンス時代の影響は生き残りまして、ドイツを中心として音楽は依然として数学的学科として定義され、数の原理は音の形で鳴り響けば音楽となるし、鳴り響く数であると同時に鳴り響く幾何学であった訳です。

こうした幾何学的仕法の作曲家の第一人者はJ.S.バッハでありました。

バッハの楽譜は、初心者への為のインベンションを始めとして秩序正しく書かれており、晩年にプロテスタントとカトリックとの宗教戦争を超える視点で『ミサ曲 短調』を作曲しました。宗教音楽家としての地位を築き上げた大作でした。

数の比例と音の響きの間に不思議な矛盾が存在しているのに気付く、鍵盤楽器(チェンバロ、オルガン、ピアノ)の音の高さを整える時、全て三度とか五度と単純な数比で揃える事は不可能で、バロック時代の音楽家はなるべく多くの音を使い表現能力を拡大して行く曲造りが進み、昔ながらの原則を上手に破って音楽の世界を拡大して来たのがJ.S.バッハでもありました。

それでは少し、バッハの一度は耳にした事のある作品を聴いて頂きます。曲目は『トッカータとフーガ 短調 BWV565』です。

バッハ (1685~1750)

『トッカータとフーガ 短調 BWV565』

スイス 1977年録音

オルガン演奏 オルフガング・リュプサム

CD演奏

17世紀の前半、バッハ、ヘンデル、ラモー、ヴィバルディの時代は、バロック音楽の最後に発展した時代でもあり、又バロック時代を幅広く変質しながら解体した時代でありました。

それは国王と貴族を中心とした音楽であったのが、一般市民の愛好家にも広く訴える事が求められる様になって来ました。

バッハの同世代にG.F.テレマンがおりますが、演奏しやすく聴きばえのするテレマンの作品は、プロの音楽家はもとより一般市民にも大変喜ばれ、ド

イツ随一の作曲家としてバッハをしのぐ名声を得ていた様です。

音楽の大原則は“歌う”と言う事でありまして、声楽曲はもちろん器楽曲に於いても旋律を美しく歌わなければならない事、その条件として手易、明瞭、流麗、優美の四つの事を上げる事が出来ます。

旋律と言えるものは、どこかで聴いた事があると思わせる程親しみやすく、自然でなければなりません。そして文章の様に正しく、区切られたアクセントをつけ統一されなければならないとし、なめらかに快く歌うものでなければならない、と言う事があります。

バロック時代の後期になって、美しい旋律を目立たせ分かりやすい音楽が市民の心を捉える様になると、数学的な音楽から旋律の良く分かる快く歌う様な作品が作曲される様になり、ロマン派の時代に移行する様になって来た訳です。ロマン派の時代になると、モーツァルト、ベートーベン、ワグナー、ピアノの詩人 ショパン、リスト、国柄を代表する様な作曲家が現われ、見事に花ひらいて来た訳です。

又ここで、CDをお聴かせ致します。曲目は『清らかな女神』です。

『清らかな女神』 ベルリーニ作曲
イタリア歌劇『ノルマ』より

歌手 フィリッパ・ジョルダノーは、イタリアのトップソプラノ歌手で、元来クラシックの歌手ではなかったのですが、その歌声の素晴らしさが抜群なので、クラシックの歌曲を歌われる様になり、益々歌声の素晴らしさが分かり、このCDが日本で発売された時クラシックチャートの1位を3週間続けた位、歌声は素敵です。キリスト生誕2000年のミレニアムにあたり、世界のカトリック教会関係者がローマ法王に謁見する式典がありまして、15万人の人々がサン・ピエトロ広場に集まって行なわれ、その折唯一人のゲストとして招かれたのがフリッパーで、法王直属のパチカンオーケストラと聖歌隊をバックに、グノーのアベマリアを歌ったのでした。イタリア国営放送で中継していた為、国民の大勢の方より歌手への情報を求められる程、素晴らしい歌声であった様です。

CD演奏

本日は私の道楽の中から、音楽が我々人間にどの様に関わっているか、音楽が人生にとっていかに必要であるかを考えてみました。

私の道楽の中の 하나가、オーディオで音楽に親しむのが大好きで、古いレコードやCDをいじくり廻しながら、夜長の一時を楽しんでおります。お聴きになりたい人がおれば御招待しますので、御連絡下さい。お待ちしております。

次週例会 8月12日 **クラブ休会**

次々週例会 8月19日 外部卓話 新潟県立三条商業高校
校長 石井 充 様

